

静脈市場におけるリサイクル材のCFP算定・連携の基盤（プロトタイプ版）の設計・実証

事業者名：株式会社ゼロボード
実施期間：令和6年7月～令和7年2月

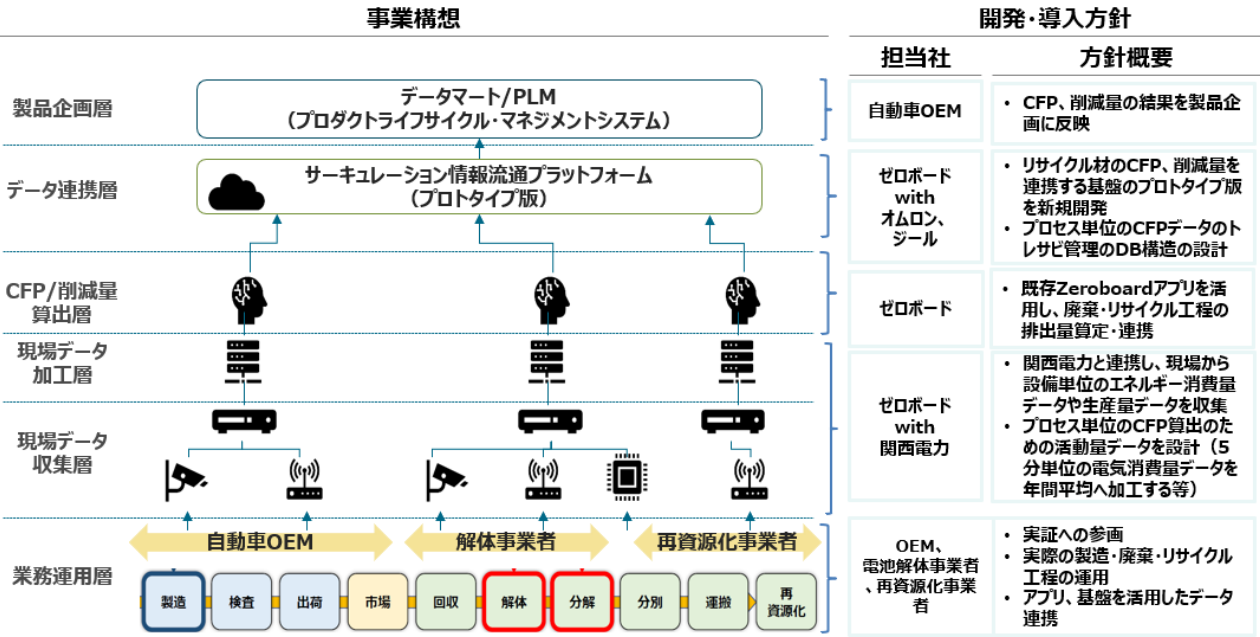
1. 事業の背景・目的

欧州電池規則を始めとする、あらゆる法規制でリサイクル材の回収率や使用率の開示が求められる。弊社が従来より取り組んでいるデータ連携・トレーサビリティ管理システムと接続可能なアプリケーション (Zeroboard for batteries)の開発と連動し、以下3点を目的に本事業を推進した。

- ①蓄電池サプライチェーンに対する欧州電池規則対応に向けた包括的ソリューションの開発
- ②欧州CSRD対応における資源循環関連の開示のための包括的ソリューションの開発
- ③サーキュラーパートナーズの会員として、循環に必要な製品・素材の情報や循環実態の可視化への貢献

2. 補助事業の概要

- ①リサイクル材のCO2排出量（CFP）及び削減量、リサイクル率などをサプライチェーン間で連携する基盤のプロトタイプ版を設計。
- ②開発したプロトタイプ版を自動車OEMやバッテリーセルの解体事業者、バッテリーセルの再資源化事業者を含むバッテリーのリサイクルサプライチェーンで実証。その際、CO2排出量を算出するためのエネルギー消費量を設備単位で収集し、プロセス単位のCFPを算定・連携。



3. 登録画面及びCFPに基づく削減効果の算出画面イメージ

